



石海小学校だより

校訓 「あかるく なかよく 力いっぱい」

太子町立石海小学校
NO.4 令和3年7月16日
発行者：校長 久保田 昌之

1学期をふりかえって



1学期も残りわずかとなりました。各学年で育てているアサガオ、ミニトマト、マリーゴールド、ヒマワリ等も大きくなり、朝登校して観察したり、水をあげたりしている姿が見られます。未だ感染状況は安心できませんが、感染症対策をとりながら、できることを考え、教職員で力を合わせて教育活動を行ってきました。

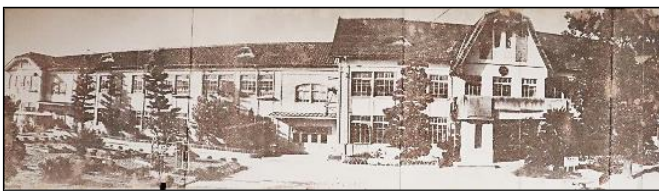
保護者や地域の皆様には、温かいご支援・ご協力をいただき、心より感謝申し上げます。感染症、熱中症等に気をつけて、有意義な夏休みを過ごせるようご家庭でもご指導よろしくをお願いします。

祝 創立記念日



石海小学校は、7月1日に創立146年を迎えました。学校の誕生日ということで、お祝いメッセージを作成し、校長室へ届けてくれた児童が数名いて、愛校心が育まれていると感じました。みんなに愛されてきた歴史と伝統ある石海小学校を、これからも守り発展させていく使命を改めて痛感しました。

下記の写真は、校長室に掲げてある旧校舎(昭和7~47年)です。当時、兵庫県下でも随一の規模、風格を誇り、卒業生の追憶のシンボルとなっていました。



授業参観～がんばっている姿を見てね

7月7日(水)に、地区別に分散して授業参観を行いました。コロナ禍のため、昨年度は1度も実施できなかったのですが、1・2年生にとっては、小学校に入学して初めての授業参観となりました。



ちょっぴり緊張していましたが、おうちの方を見かけると笑顔になり、とても張り切っている姿が見られました。お忙しい中、ご協力ありがとうございました。

水害時対応避難訓練を実施

7月8日(木)は、大雨警報のため臨時休業となりました。そこで、翌日7月9日(金)に、「大雨により林田川が氾濫の恐れがある」ことを想定して、避難訓練を実施しました。



通常は、運動場に避難しますが、今回は校舎3階へ垂直避難する「屋内安全確保」を行いました。水害時対応の訓練は初めてでしたが、きまりを守って、安全に避難できました。

願い事がかないますように-わくわくタイム

短冊に願い事を書いて、縦割りグループに分かれて廊下に飾り付けをしました。「家族みんなが幸せにぐらせますように」「コロナが終わり、みんなと仲良くできますように」「泣いている人を一人でもつぐらな社会ができますように」「お笑い芸人になりたい」等、一人一人の熱い思いが表れていました。子どもたちの願いがかないますように。



命のつながり

5年生は、総合的な学習で皮革工場へ見学に行きました。

皮から革へと変わる様子を見学したり、ふれたりすることで、皮革の製造工程を理解することができました。また、働く人々の思いや「牛の命」についても深く考えることができました。



***** 教室の窓 *****

登校中の児童が道路を渡ろうとしていた時、わざわざ車を止めて待ってくださった方がいました。朝の忙しい時間にも関わらず、やさしい方だと思いました。児童もステキだ感じました。ドライバーさんを待たせないように早歩きで渡る児童や、頭を下げながら渡る児童もいました。みんなが渡り終わった後、高学年の班長さんが、待ってくださったドライバーさんに深々と頭を下げお礼をしていました。

相手のやさしさを当たり前のことだと思わず、「ありがとう」の気持ちをきちんと伝えようとする姿に、心が温かくなります。肩をはって偉そうにするのではなく、そんな姿を低学年に示してくれる高学年を頼もしくも思います。とても気持ちのよい朝でした。

〈文責：教頭 三宅 優一〉